八月十三日より十六日まで

盆供養会

（詳細は三面に掲載）

名古屋 成田山

発行所　愛知県犬山市
成田山名古屋別院大聖寺
電話　0568（61）2583(代)
FAX　0568（62）7020
振替　00890-4-19213
毎月1回25日発行

犬山成田山　検索
↑クリック

創刊 昭和29年1月25日（770号）平成30年7月25日発行

西日本豪雨により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

尊い命を失われた方々に哀悼の意を表し、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

当　山

大相撲名古屋場所前の時津風部屋の稽古風景＝7月2日、出稽古に訪れた高安関（左）、逸ノ城関（右）。

教苑

命を考えるキッカケ

空気を切り裂くような、耳に突き刺さる甲高い悲鳴。そこへ突き付けられる電気ショック。気絶したところへ、喉をナイフでひと裂き。

テレビ番組の制作に携わっていると、様々な業界の裏側を見ることができます。普通に生きていたのでは経験できないような世界を覗く事が出来たり、偉才と関わり合えたり。そんなところが、この仕事の醍醐味ではないでしょうか。

前述の壮絶なシーンは、「ハムが出来るまで」を紹介する番組を製作する中で出会った場面です。食肉センターに生きた豚が運ばれて来て…。

忘れがちですが、私たちは普段から『生き物を食べて生きている』という事を思い出させられました。そして、この目を背けたくなるような状況が、自分の中で、とても大切な事のように思えたのです。

テレビは誰でも見る事が出来ます。言い方を変えると、誰もが予期せず目にしてしまいます。その為、不快に感じられる可能性があるものは極力排除するように配慮しています。生き物が肉になるシーン。当然、放送すべきかどうか議論を重ねました。ハムの作り方を紹介するだけであれば、死に触れる必要はありません。

しかし、この時は、あえてこのシーンを放送するという選択肢を取りました。「魚は切り身で泳いでいる」と思っている子どもがいると言われる昨今、『命について考える』キッカケになれば。という結論に至ったのです。

伝えたいものは、衝撃的なシーンではなく、「命について」でしたので、直接的な描写は避けましたし、そのものを映さずとも伝わるように工夫はしました。放送後、賛否両論様々な意見がありましたが、私としてはポリシーを持ったチャレンジが出来ましたし、放送して良かったと信じています。

今後も、『思いの伝わる番組』、そして『見た後に何かが残る番組』が作れればと思います。そして、より多くの人にとってテレビが面白いものであるように努力していきたいです。

極東電視台
制作本部名古屋制作部
演出　中川　学

職域安全・工場安全・災害防止・業績向上

全国安全週間特別祈願会

会社、事業所、工場等の職域安全・工場安全・災害防止・業績向上を祈願する『全国安全週間特別祈願会』が七月一日から七日まで厳修されました。

この特別大祈願会は、厚生労働省と中央労働災害防止協力会が主唱する『全国安全週間』に合わせて厳修されるもので、期間中には大勢の会社・工場関係者が参拝されました。

信徒総代に 安藤隆司氏ご就任

名古屋鉄道株式会社代表取締役社長安藤隆司氏が、平成三十年六月二十七日付にて信徒総代にご就任されました。

犬山ライオンズクラブ 早朝例会

犬山ライオンズクラブ（会長＝秋山龍作氏）は七月十九日、当山にて早朝例会を開催されました。

当日は本堂において朝護摩供を参拝され【写真】、同クラブの発展、会員の所願成就を祈願。その後信徒会館三階三宝の間にて例会が開催されました。

大相撲名古屋場所

時津風部屋 必勝祈願

大相撲名古屋場所を直前に控えた七月七日、当山に宿舎を構える時津風部屋の力士一同が回し姿で本堂前に参集し、必勝を祈願されました。

東海三十六不動尊霊場会

総会開催

第二十九回東海三十六不動尊霊場会総会が六月二十九日、同霊場第十一番札所の成田山萬福院（名古屋市中区）にて開催されました。

霊場会会長を務める当山宮本主監の挨拶後、議事に移り、各札所の近況報告、昨年度会計報告、今後の事業計画について議論がなされました。

暑中お見舞い申し上げます

平成30年　盛夏

大本山成田山新勝寺

貫首　橋本照稔
寺務長　岸田照泰

成田山名古屋別院大聖寺

信徒総代　山本亜土
同　田口義隆
同　大島宏彦
同　三田敏雄
同　早川敏生
同　社本宮明
同　豊島半七
同　安藤隆司

成田山貞照寺

総代　川上新一郎
同　武藤容治
同　松澤弘之

成田山講社東海地方本部
成田山索の会

会長　山本亜土
副会長　社本宮明
同　安藤隆司

成田山名古屋別院大聖寺

主監　宮本照剛
法教部長　小豆畑照観
信徒部長　岩間信夫
庶務部長　松澤弘之

開創六十五周年
記念大祭

柴灯大護摩供　護摩木祈願

本年は当山開創六十五周年の記念歳に当たり、十一月三日、開創記念大法要を奉修し、記念行事として柴灯大護摩供を執り行います。

柴灯大護摩供とは、野外にて炉を組み、ご信徒皆様よりお預かりした柴灯護摩木をお焚き上げし、所願成就を祈願する壮大な祈願祭です。

多くのご信徒皆様にご参加を頂きたくご案内申し上げます。　合掌

一、日　時　十一月三日　正午より
一、場　所　当山境内
一、柴灯護摩木　一本　三〇〇円以上

柴灯護摩木は本堂横総受付・自動車祈祷殿にて受付けております。

※お願い事、お名前、数え歳を浄書下さい。

開創
六十五周年

記念事業奉賛のお願い

本年十一月、当山は開創六十五周年を迎えます。その記念事業として総受付屋根改修及び銅板瓦葺き替え工事、信徒会館及び奥殿外壁塗装並びに会館内一部改修工事、他境内各所整備の諸事業を発願しました。一部完工した事業もございますが、未だ継続中の事業もあり、その完遂に邁進している所でございます。

ご信徒各位にはこの趣意にご理解ご賛同賜り、ご奉賛賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

一、奉賛金　一口　一万円以上

成田山名古屋別院

ご先祖さまの　年に一度の里帰り

盂蘭盆会法要

◆日　時　八月十五日（水）午後一時三十分より
◆供養塔婆　笹塔婆（48cm）二千円以上
　五尺塔婆（150cm）三千円以上
　六尺塔婆（180cm）五千円以上

見本

献灯会

◆日　時　八月十三日～十六日（午後五時～九時まで点灯）
◆献灯料　三千円以上
◆笹塔婆　二千円以上

見本

法要当日はどなたさまもお参り、ご焼香いただけます。供養塔婆、献灯、お供物等のお申し込みは総受付にて承っております。

索の會だより

第37回 成田山索の会総会開催

第三十七回索の会総会が六月二十四日、成田山信徒会館にて開催されました。当日は、快晴に恵まれ、各地より大勢の索の会々員が参集し、索の会本部役員副会長松林孝美氏、社本宮明氏、監事拝郷寿夫氏、常務理事鈴木博氏、増田金次郎氏、市川健次郎氏、牛込進氏、列席のもと午前十時より開会しました。

総会は開会の辞に続き、この日ご来場の会員で本尊不動明王に合掌礼拝、会員物故者に黙祷を捧げた後、索の会のモットーを名古屋成田講支部の岡部幸男氏の音頭により唱和されました。次に、山本亜土会長（代読＝名古屋鉄道㈱西部支配人水野泰氏）よりご挨拶があり、御来賓の成田山名古屋別院宮本照剛様、参議院議員の藤川政人様よりお言葉を頂きました。

その後、会に対し功績をあげられた方々に宮本主監より階位表彰が行われ、布施席一名、愛語席九名、利行席二十二名に階位証と記念品が贈られました。

引き続き、松林副会長が議長に選出され、議事に移りました。事務局の岩間信徒部長より平成二十九年度の経過報告、難病者激励募金報告、会員の現況及び比較、収支決算報告をし、拝郷監事より平成二十四年度から平成二十九年度までの監査報告がありました。事務局より、平成三十年度の実践計画案の説明がありました。中でも、成田山名古屋別院開創六十五周年記念事業奉賛金のご承認をいただきました。

閉会後、会員の皆様は十一時から大護摩供に参拝されました。

事務局記

◆階位表彰者

【布施席】一名
松林孝美

【愛語席】九名
村上圭子　中村富子　山口悦子　鈴木弘志　武藤睦　上杉勝治　中田恭子　牛込進　角田蔦子

【利行席】二十二名
成瀬彰　野呂陽子　小川直行　石田昇　前田直子　山田敏行　加藤敬　近藤繁雄　細田収　鈴木寛　佐々木巽　山田豊　近松道代　菊田晃奘　松浦末次　坂井田正之　角田愛子　祖父江いつゑ　杉山京子　伊東京子　柏木桂子　酒向妙子

開創六十五周年記念事業 奉賛金を贈呈

索の会を代表して本部役員七名が六月二十四日、成田山名古屋別院開創六十五周年記念事業奉賛金として百万円を同別院に贈呈いたしました。

当日行われた索の会総会終了後、成田山信徒会館菊の間に於いて、松林孝美副会長より「六十五周年記念事業にお役立て下さい」と宮本照剛主監へ奉賛金の目録を手渡しました。

※索の会員の皆様には何かとご支援を賜り、この紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

事務局記

総登山参拝

―碧南支部―

碧南支部（支部長＝井上雅弘氏）では、六月三日総登山を実施しました。

本堂にて会員安全の御護摩祈祷後、昼食を取りながらの懇親会となりました。成田山事務局より盆供養の塔婆と献灯のお願いを致しました。

石黒記

役員会開催

―丸山成田山講支部―

六月十日、丸山成田山講支部（支部長＝中島陸秩氏）の役員会が、信徒会館三階三宝の間にて開催されました。始め宝蔵院吉川政暎住職の法話を拝聴し、中島支部長の挨拶の後、行事報告、来年度の参拝旅行等について協議しました。事務局からは、盆供養会の協力、会員の増員をお願いしました。

渡辺記

―名古屋成田講支部―

名古屋成田講支部（支部長＝増田金次郎氏）では、六月十七日信徒会館二階藤の間にて開催されました。

主な議題としては、大本山成田山新勝寺開基一〇八〇年祭大開帳の親睦旅行報告、成田山名古屋別院六十五周年記念法要での柴灯護摩木のご協力と、八月十九日の名古屋成田講関係物故者法要について協議されました。

青山記

―丹羽支部―

丹羽支部（支部長＝社本宮明氏）では、六月二十六日地元にて役員会が開催されました。

主な議題としては、大本山成田山新勝寺開基一〇八〇年祭大開帳の親睦旅行報告、八月五日の丹羽支部総会、成田山名古屋別院六十五周年記念法要での柴灯護摩木について協議されました。

青山記

貞照寺だより

川上貞奴女史 生誕記念日 諸芸上達大護摩供厳修 並びに 奉納コンサート開催

川上貞奴女史生誕を記念して七月十八日、午前十時半より諸芸上達祈願大護摩供が厳修され、十一時より奉納コンサートが開催されました。

奉納コンサートではコカリナ演奏グループ「こだま」「ドルフィン」により奉納演奏いただき【写真】、その優しい音色に参拝者は熱心に聴き入っておられました。

各務原市 緑陽中学校剣道部 必勝祈願参拝

六月三十日、各務原市緑陽中学校剣道部部員及び関係者が必勝祈願をされました。お護摩祈祷中、部員一同は一心に必勝祈願され、また保護者始め関係者が作成した千羽鶴がお火加持されました。

七月八日に開催された各務原市中体連剣道大会において同剣道部は健闘され、男女共に団体が地区大会進出、個人の部でも同大会に進出が決定しました。

6月10日～7月8日 奉納者芳名

（順不同敬称略）

◆幟
神奈川県　今井啓吾
多治見市　藤本尚子
大垣市　林初美
　今井花絵

◆大ローソク
各務原市　森安ひとみ

◆お供え
東京都　今井禧子
岐阜市　安田薫子
各務原市　貞奴フォーラム

◆灯明料
多治見市　藤本尚子

貞照寺参拝と萬松園見学会

八月二十日（月）
参加費一〇四〇円（要予約）

孟蘭盆会法要

成田山貞照寺
八月十五日
午前十時より

貞奴縁起・諸芸上達・所願成就
成田山貞照寺
〒509-0123
各務原市鵜沼宝積寺町5-189
電話　(058)384-0202

だんわ室

はじめまして。今年度から犬山成田山でお勤めすることになりました明星良朋と申します。

私は高校までは岐阜の学校に通っておりましたが、大学は、京都の大学に進学しました。大学を卒業した後、総本山智積院にて一年間の修行、そしてもう一年実修生として様々なことを学ばせて頂きました。

一年間の修行では、僧侶になるための基礎を主に学びました。実修生になると、葬儀・回向のお手伝い、参拝者のご接待など、実践的な仕事をさせて頂き貴重な体験をさせて頂きました。そして、実修生の任期が終わった後、自坊の住職である父親が昔、犬山成田山でお勤めをしていた縁もあり、犬山成田山にお勤めさせて頂くことになりました。

犬山成田山には幼い頃から父親に連れられて、よく参拝しに来ていましたので、懐かしく思うこともたくさんあります。また、父親のことを知っている詰合員さんや信徒の方々には良くしていただき、ありがたく思っております。

今月に入り、成田山に勤め始め四ヶ月が経ちました。この四ヶ月の間で、少しずつ出来るようになった仕事は増えましたが、まだまだ覚えることはたくさんあり、まだ不安なこともあります。しかし、成田山の詰合員の方々は、大変やさしく指導して下さるのでとてもありがたく思います。

私には成田山に勤める間で成し遂げたい目標があります。それは、僧侶として今よりも多くのことを出来るようになりたいという目標です。

私は僧侶としてお勤めし始めて今年で二年目です。その期間の中でも僧侶になりたての頃よりかは様々な事が出来るようになりました。しかし、それは僧侶として求められることの内のほんの一部にすぎません。私にはまだまだ出来ないことが沢山あります。その、私に足りないものを成田山で身に着けること、それが、私が僧侶として一歩二歩成長するために必要なことだと私は思っています。

まだまだ未熟者ではありますが、精一杯頑張りますので何卒よろしくお願い申し上げます。

法教部　明星　良朋

平成三十年盛夏
暑中お見舞い申し上げます

日本民踊研究会
成田山民踊教室
師範　鈴木　豊広

成田山書道会
講師　日江井芝香

表千家
吉田生風庵
〒四六〇―〇〇〇七
名古屋市中区新栄一―二四―九
電話〈〇五二〉二四一―〇六五三

表千家吉田生風庵
社中　生風会
〒四六〇―〇〇〇七
名古屋市中区新栄一―二四―九
電話〈〇五二〉二四一―〇六五三

日本生花司
松月堂古流
尾張支部

茶華道ニュース社
〒四五四―〇〇二二
名古屋市中川区露橋一―一三―九
電話〈〇五二〉三五一―九六八八

銅板志納者芳名
（順不同敬称略）

六月

山県市　鈴木　博
小牧市　㈱エムエフエス
羽島市　中田恭子
〃　坂井田正之
岩倉市　ソノケミカル
野畑優一
野畑とも子
杉浦恭子
鈴木敏之
鈴木慎介
岐阜市　山田豊
豊田市　西山典子
〃　松村晃代
各務原市　伊藤久代
多治見市　早川勇
名古屋市　遠山建設㈱
遠山一良
〃　遠山正弘

六月の大護摩供修行者芳名
（順不同敬称略）

名古屋市　宮澤保雄
岐阜市　黒川弘人
〃　黒川千枝子
多治見市　東濃運輸㈱
名古屋市　港トラック成田講
瑞穂市　丸門建設㈱
羽島市　丸門運輸㈱
東近江市　滋賀丸門運輸㈱
名古屋市　㈱TKB
揖斐郡　㈱AGAI
名古屋市　遠山正弘
各務原市　セイラン㈱
森山雅紀
北名古屋市　余吾鐵男
犬山市　成田山索の会

六月の自動車特別ご祈祷修行者芳名
（順不同敬称略）

岐阜市　宮川㈱
名古屋市　米本守
〃　〃
〃　〃
山県市　◆索の会

六月の登山講社

名古屋市　名古屋成田講
〃　成田山金山橋講
〃　港トラック成田講
成田山岐北月参講
名古屋成田講支部
港トラック支部
港名古屋講支部
岐北月参講支部
金山橋講支部
聖道支部
碧南支部

成田山成福講 参拝旅行

成田山成福講（講元＝青木一博氏）では五月十三日に大本山成田山新勝寺開基一〇八〇年祭記念大開帳への参拝旅行を実施致しました。

十二日夜地元を出発した一行は十三日早朝に新勝寺に到着し、朝護摩を参拝しました。その後、光輪閣での坊入、醫王殿、光明堂、奥の院などの特別開帳を参拝しました。

折しも十三日は中回向のご縁日でもあり、早朝にもかかわらず、大勢の参拝客で賑わい、華やかさの中にも凛とした荘厳な雰囲気が境内を漂っていました。

新勝寺出発後は東京スカイツリーなどの東京観光を満喫し帰路に着きました。

講としては約二十年ぶりの新勝寺参拝となり、初めて参拝する講員も多く、また、現講元はじめ、講員一人一人が先代青木正先達からの御法縁を大切にし、今回の新勝寺参拝を実施することが出来、充実した二日間となりました。

港トラック成田講 参拝旅行

五月十一、十二日、港トラック成田講（講元＝山本敦氏）では、大本山成田山新勝寺開基一〇八〇年祭記念大開帳に参拝旅行を実施されました。支部一行は、早朝よりセントレアから空路にて成田空港に

紙上書道展

中二　酒井　倖佑
【評】さわやかな線で美しく書けました。

小六　松下　侑生
【評】堂々としていねいに書け、練習の成果が感じられます。

小四　橋本　陽葵
【評】おちついたおだやかな線で書けました。

8月の成田山行事

お不動さまの御縁日
毎月1日、15日、28日

◆ご詠歌講習会　10日、30日
午後1時　信徒会館3階
◆奉納盆踊り　13日午前10時
◆献灯会　13日～16日　弘法堂
17時から21時まで点灯
◆盂蘭盆会法要　15日　弘法堂
午後1時半
◆ほうろく灸　弘法堂
1日（土用の丑）、21日
◆写経会　28日　信徒会館3階

ご詠歌講習会

八月十日・三十日
午後一時より
信徒会館三階

おくやみ

小島徳美 氏

索の会味鋺成田講支部員の小島徳美氏が六月七日、逝去されました。

告別式は六月九日、平安会館味美斎場にて営まれました。喪主は小島政則さん。

竹内優子 さん

当山特縁、新徳講代表の竹内優子さんが六月九日、逝去されました。

告別式は六月十三日、たなか葬祭センターセレモニーホール市田にて営まれました。喪主は竹内義博さん。

紙面の都合上『編集室より』は休載いたします。